



読書感想文募集の案内

第 63 回 青少年読書感想文 全国コンクール 応募要項

◆対象図書

◎課題図書 下記の3つの図書。図書館に入荷予定。

◎自由図書 自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問わない。

ただし、教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌（別冊付録を含む）、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書および課題図書は対象外。

◆用紙・字数

①原稿用紙，縦書き，自筆。

②文字数は本文 2000 字以内

③句読点はそれぞれ 1 字に数える。改行のための空白か所は字数に数える。

④題名，学校名，氏名は字数に数えない。

◆校内締切 9月1日

※興味のある人は，夏休み前に図書館まで

第 63 回 青少年読書感想文 全国コンクール 課題図書 の紹介



フラダン Sunnyside Books (小峰書店)

古内 一絵【作】

女子率 100 パーセントのフラダンス愛好会に集められた 4 人の男子高校生。その目的は男女混合によるフラガールズ甲子園出場だった！ 震災から 5 年後の福島を舞台に描くとびきりの笑顔と涙の青春ストーリー。



ストロベリーライフ (毎日新聞出版)

萩原浩【作】

直木賞受賞第一作！富士山麓の苺農家を舞台に新たな人生を模索する家族の物語。甘い苺づくりに夢をかける“甘くな〜い”お仕事小説です、

犬が来る病院—命に向き合う子どもたちが教えてくれたこと
(KADOKAWA)

大塚敦子【著】

「わたしの病院、犬がくるの」聖路加国際病院 小児病棟での感動の記録！ 聖路加国際病院は、日本で初めて小児病棟にセラピー犬の訪問を受け

入れた医療機関です。本書は、著者がそこにおよそ3

年半にわたり取材し
を通して描いた感動
でしたが、二人は幼
い人生の最後の日々
のか。入院中であっ
ても、子どもたちが

た中で、出会った四人の忘れがたい子どもたちの生死
のノンフィクションです。四人のうち二人は生還でき
くして世を去りました。亡くなった子どもたちは、短
くどう生きたのか。また、退院した子どもたちは、小
自分の人生に、どのような影響を受け今を生きている
のか。入院中であっても、子どもたちが豊かな時間を過ごし、困難を乗り越えていけるように、
医師や看護師、保育士、心理士、チャプレン(病院
等で働く牧師)など数多くのスタッフたちで行われる取り組みについ
て、四人の子どもたちを通して描いた感動の記録。



図書館に雑誌が増えます。お楽しみに！



ちょっとあなたの世界を
広げてみませんか

図書館で